

シンポジウム

「ビッグデータが切り拓く未来」

2018年

6月15日（金）13:00-17:10

（受付12:30開始）

場 所 首都大学東京丸の内サテライトキャンパス
定 員 50 名
参加費 無料（事前申込要）※名刺を1枚受付へお渡しください
対 象 ビッグデータによるビジネス展開に関心をお持ちの方々

概要

ビッグデータの活用により、現在さまざまな分野で新たなビジネスや既存ビジネスのイノベーションが進行中であり、また近いうちに立ち上がる企画も多いと考えられる。本シンポジウムでは、ビッグデータを活用することで描かれる将来ビジョンをさまざまな分野で日々検討されている方々のお話をうかがうことで、異分野の動向を知る機会、それらを各自の分野で応用できるか検討する機会、新たな視点を獲得する機会、新たなビジネスモデルの可能性を模索する機会などを提供する。

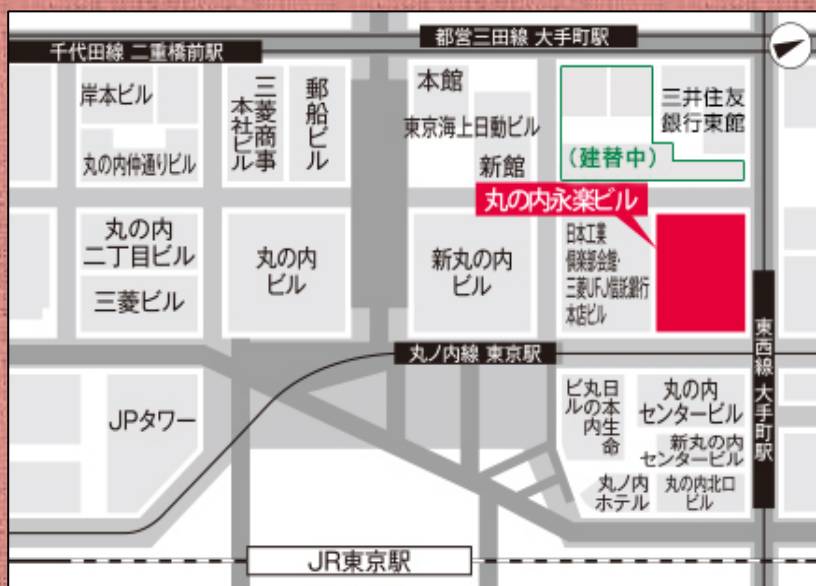
プログラム

- 13:00 開会挨拶
木島正明（広島大学 情報科学部長 教授）
- 13:05 「ビッグデータをビジネスで活用する秘訣」
矢島 安敏（オリックス株式会社 グループ戦略部門 システム企画部）
- 13:50 「ビッグデータの銀行業務への活用状況と今後の展望」
荒川 研一（りそな銀行 リスク統括部金融テクノロジーグループ）
- 14:35 休 憩
- 14:55 「ビッグデータを活用するためのデータ解析技術」
藤原 靖宏（日本電信電話 NTTソフトウェアイノベーションセンタ）
- 15:40 「AI のビジネス活用の現状と課題」
妹尾 義樹（産業技術総合研究所 人工知能研究企画室長）
- 16:25 「ビッグデータの生み出す価値とリスク」
森本 康彦（広島大学 大学院工学研究科 情報工学専攻 教授）

アクセス

JR線「東京駅」丸の内北口徒歩約5分

東京メトロ・都営地下鉄「大手町駅」地下直結



〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1
丸の内永楽ビルディング18階

※当日は丸の内永楽ビル3F専用受付にてお名刺1枚受付にお渡しください。セキュリティカードが付与されます。18階、首都大学東京丸の内サテライトキャンパスまでお越しください。

応募方法

WEB登録: <https://goo.gl/forms/uWZbrIQ9tRBtU4BR2>



メール: financeアットtmu.ac.jp へ
「お名前(ふりがな)・所属名・電話番号・メールアドレス」を
ご記入の上、送信ください

締切: 2018年6月14日(木)
(定員になり次第締めさせていただきます)

共催

広島大学 情報科学部

首都大学東京 金融工学研究センター



広島大学



シンポジウム「ビッグデータが切り拓く未来」

講演の概要

1. 「ビッグデータをビジネスで活用する秘訣」

オリックス株式会社 グループ戦略部門 システム企画部 矢島安敏 様

「ビッグデータ」という言葉には、量の多さや高い複雑性といったデータその物の特性だけでなく、今までにはない新たな価値創出の源という意味合いが、強く込められている。実際、ビジネスのいたるところでデータが持つ価値が認識され、例えば AI や機械学習を始めとしたビッグデータから価値創造するためのテクノロジーが、実際に活用されている。本講演では、ビッグデータを取り巻く近年のいわゆる「エコシステム」を俯瞰して、特にビジネスの領域でデータを活用するための鍵となるであろういくつかのトピックを共有したい。そこから見えてくる、ビッグデータ活用の秘訣に関してディスカッションしたい。

2. 「ビッグデータの銀行業務への活用状況と今後の展望」

りそな銀行 リスク統括部金融テクノロジーグループ 荒川研一 様

従来から銀行の社内情報を用いたマーケティングやリスク管理が行われているが、近年の I T 技術の進展、機械学習に代表されるビッグデータ処理技術の向上を受け、銀行業界においてもビッグデータを用いた改革が進行中である。預金口座の入出金明細やお客様との交渉履歴等の社内データ蓄積の進展、API 解放等による外部データの活用より、新たな金融サービスが開始されつつある。貸出業務を中心に具体的な金融サービス事例を取り上げるとともに、ビッグデータ分析による金融サービス改革の展望について概説する。

3. 「ビッグデータを活用するためのデータ解析技術」

日本電信電話株式会社 NTT ソフトウェアイノベーションセンタ 藤原靖宏 様

データベース技術やインターネット技術の進展に伴い、ビッグデータを収集することが可能になりつつある。データを活用する上ではデータを集めるだけでなく、データから情報を抽出することが必要になる。本講演では N T T 研究所におけるデータから情報を抽出するための技術とその具体的な例について紹介する。

4. 「AI のビジネス活用の現状と課題」

産業技術総合研究所 人工知能研究企画室長 妹尾義樹 様

人工知能（AI）、特に機械学習を用いた社会価値創造の現状について、産業技術総合研究所、人工知能研究センタ（AIRC）の研究開発活動を中心に紹介する。また、現在の AI のビジネス適用の課題について述べ、これらを解決するための AIRC の今後の研究方針について説明する。特に、AI の品質管理および安全管理、AI のエンジニアリングおよび、高性能コンピュータを活用した課題解決について詳細に説明する。

5. 「ビッグデータの生み出す価値とリスク」

広島大学 大学院工学研究科 情報工学専攻 森本康彦 教授

保有する大量のデータから価値のある知見を発見する技術をデータマイニングと呼ぶ。私の研究室では、ID 付き POS データ、GIS データなどのビッグデータを対象としたデータマイニングの研究に取り組んでおり、そこで開発した技術を利用して、数多くの価値ある知見を発見してきた。その一方で、これらの研究を進めていた同時期に、個人情報保護法が施行され、データに含まれるプライバシー問題が注目されるようになった。本講演では、プライバシー問題がビッグデータ利活用に与える影響と、その対処法について、我々の経験した事例を中心に紹介していく。